

社会を測り、データで政策を支える —総務省統計官僚の最前線

公的統計＝「データで示す社会の縮図」

数値で実像を可視化し、EBPM の基盤、政策形成の羅針盤となる。総務省の統計官僚がどのように取り組んでいるのか、官学連携の実践と意義、最新の国勢調査の進捗・課題を交えて紹介し、今後の展望を語ります。

阿向 泰二郎

総務省統計局統計調査部長

**2025 年
11 月 12 日（水）
12:15-13:00
14 階 TAISEI 会議室**



[参加申込はこちら](#)